

新規事業採択時評価結果（平成16年度 新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 一般国道113号 <small>きのと</small> 乙バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 新潟県
起終点 自：新潟県北蒲原郡中条町桃崎浜 至：新潟県岩船郡荒川町南新保		延長 2.1 km	
事業概要 <p>一般国道113号は、新潟市から荒川町・山形県小国町を経て福島県相馬市に至る延長約237kmの幹線道路であり、新潟県と山形県を結ぶ交流促進型の広域道路として重要な機能を担っている。</p> <p>当該事業区間は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」と一般国道345号を結ぶ道路である。この「新潟山形南部連絡道路」の一部である「荒川道路」が国土交通省において現在事業中であり、「荒川道路」と連携した整備によって交流・連携・広域ネットワークの形成を図るものである。</p>			
事業の目的、必要性 <p>荒川道路と一体的な整備により、一般国道345号から一般国道113号（一般国道7号交差点）間の現道部分の踏切除却や幅員狭小・線形不良区間を解消し、第一次緊急輸送道路の機能を強化する。</p> <p>「新潟東港」「岩船港」など交流物流拠点から新潟市や山形市へのアクセスを向上し、物流の効率化や観光などを支援する。</p>			
全体事業費 18億円		計画交通量 11200台/日	
費用対効果 分析結果	B / C 7.4	総費用 17 億円 事業費： 14 億円 維持管理費： 3 億円	総便益 126 億円 走行時間短縮便益： 112 億円 走行費用減少便益： 14 億円 交通事故減少便益： 0 億円
		基準年 平成15年	
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・ 個性ある地域の形成（主要な観光地（乙宝寺）へのアクセス向上が期待される） ・ 災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） ・ 他のプロジェクトの関係（関連する大規模事業「荒川道路」と一体的な整備） <p style="text-align: right;">他4項目に該当（定量的評価項目を含む）</p>			
関係する地方公共団体等の意見 中条町、荒川町より強い要望がある。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。